

東京2020大会が 浮き彫りにした ジェンダー問題を考える

スポーツのような身体を基盤にした文化では、身体の性別による違いのためにやむを得ないとして、差別や不平等が見過ごされたり、解決が遅れがちです。特に、競技的なスポーツにおいては、競技の公平性と人間の平等という問題が相克する事例もみられます。東京2020大会では、そのようなスポーツの特徴が示されると同時に、ジェンダーにもとづく差別や不平等の解消に対する日本社会の遅れが象徴的に示されました。スポーツは、ジェンダー問題を考える上で、身近で親しみやすいテーマでありながら、解決が難しい複雑な課題を提示してくれます。スポーツを通して社会を変化させようとする海外の取り組みも紹介しながら、議論を深めたいと考えています。

2022年1月22日[土]

13:30~16:00

13:00 ▶ 受付開始
13:30 ▶ あいさつ
13:40~15:10 ▶ 講演
15:10~15:20 ▶ 休憩
15:20~16:00 ▶ 質疑応答

会場 ウィンクあいち（愛知県産業労働センター）12階 会議室1204
名古屋市中村区名駅4-4-38

主催 公益財団法人東海ジェンダー研究所

申込方法 1月19日(水)までに、インターネット又はFAXでお申し込みください。
詳しくは、本状裏面をご覧ください。
お申し込み後、定員内の場合は特にご連絡は差し上げませんので、当日、会場へお越しください。
事前申込みなしの当日参加はご遠慮ください。

問合せ事務局 公益財団法人 東海ジェンダー研究所

〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-19 ミズノビル 6F
TEL: 052-324-6591 FAX: 052-324-6592 E-mail: info@libra.or.jp HP: https://libra.or.jp/

定員

30名

参加費無料

講師



来田 享子 さん
中京大学スポーツ科学部 教授

講師紹介

来田 享子 (らいた きょうこ)

中京大学スポーツ科学部・中京大学大学院スポーツ科学研究科 教授
神戸大学・大学院修士課程(教育学修士)、中京大学大学院博士課程(博士(体育学))。

愛知学泉大学を経て現職。

「中上流階級の白人男性が中心だったオリンピックは時代と社会の変化の中で、人権の拡大に影響を与えることができたのか、

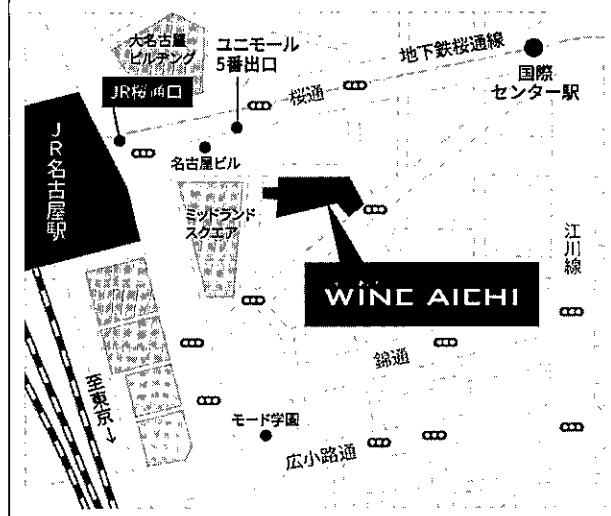
Sport for Allの「All」とは誰を指すのか、「All」から排除されている人々にどのようにすれば光をあてることができるのか」を問題関心の中心に据え、スポーツ史、スポーツとジェンダー研究に携わってきた。

現在、日本学術会議第24、25期連携会員、日本スポーツとジェンダー学会(JSSGS)会長、日本体育・スポーツ・健康学会副会長、日本スポーツ体育健康科学学術連合副代表、体育史学会副会長。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事、中京大学スポーツミュージアム副館長。「よくわかるスポーツとジェンダー(ミネルヴァ書房)」でJSSGS学会賞受賞。国際オリンピック史家協会「Vikelas Plaque」受賞。

会場案内図

名古屋市中村区名駅4-4-38

ウイंकあいち (愛知県産業労働センター)



1月22日「ジェンダー問題講座」申し込み

『インターネット』でのお申し込み

下記URLにアクセスしてページ下部の参加申し込みフォームからお申し込みください

<https://libra.or.jp/ivent-info/course-cafe/>



『FAX』でのお申し込み

項目をご記入の上、下記FAX番号までお送りください

FAX: 052-324-6592 (公益財団法人 東海ジェンダー研究所 事務局あて)

ふりがな			
氏 名			☐ 当研究所の賛助会員である
電話番号		FAX番号	
E-mail			

*参加申込書の個人情報は、お申込み確認や当日の受付、当研究所からのご連絡以外には使用いたしませんのでご了承ください。

ご来場の皆さまへ

- ★新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、定員を収容人数の半数に制限しています。
- ★発熱や咳、倦怠感などの症状がある場合は、ご参加をお控えいただきますようお願いいたします。
- ★ご参加の際は、マスクの着用や手指のアルコール消毒、こまめな手洗いをお願いいたします。また、検温にご協力ください。
- ★感染者と接触した可能性がある場合には、保健センターの実施する感染追跡調査にご協力をお願いします。